

基本構想実施計画（平成29年度～平成31年度）【行財政運営】分野 の取組状況等について（平成31（令和元）年度実績）

1 区民サービスの向上

(1) 多様な主体との協働（新たな公共の担い手）

社会福祉協議会が運営する中間支援施設「フミコム」との連携により、区が地域課題を提案し、その課題解決に取り組む地域活動団体を支援する提案公募型協働事業「Bチャレ」において、地域課題解決に向けた事業を2件実施した。

2 開かれた区役所

(1) 有線テレビ広報活動

メディアパートナー定例会議での意見をいかし、区民の興味関心を取り入れた番組を制作するなど、内容の充実を図った。また、「区民参加型文京区公式PR動画」の英語・中国語・韓国語の各翻訳版を制作し、より多くの人々が動画を視聴できる環境を整備した。

(2) オープンデータの推進

区職員にオープンデータの推進を啓発するとともに、新規公開データの拡充を進め、令和2年3月末時点で65種類のデータを区ホームページ上で公開している。また、東京都と連携してアイデアソンを実施するなど、区民等との協働の取組を推進した。

3 区の公共施設

(1) 新たな活用を図る区有地及び区有施設

旧元町小学校及び元町公園について、旧元町小学校の整備と元町公園との一体的活用事業にかかる事業者を選定し、基本協定を締結した。

(2) 新たな活用を図る区有地及び区有施設（国有地・都有地の状況）

ア 国有地

関東財務局小日向住宅（国有地）について、国においてがけ地擁壁補修工事及び解体工事を実施するとともに、区の予定している活用方策（特別養護老人ホームとその他の施設整備）に関する検討を進めた。

東京労働局庁舎跡地外（国施設）について、国施設（税務署等）と区施設（清

掃事務所及び認定こども園)との合築に向けて、国において建築設計を実施するとともに、区施設部分の実設計を行った。

イ 都有地

巢鴨自動車営業所大塚支所(都有地)について、事業主体の学校法人中央大学と、区民施設(地域活動センター(図書貸出機能を含む)、保育所、キッズルーム、育成室、自転車駐車場)の実設計を行った。

(3) 施設の機能向上/区民サービス向上

「四季の郷薬師温泉やまびこ荘」の運営のあり方を検討した結果、令和4年度まで、3年間の建物使用貸借契約を更新するとともに、施設の老朽化に伴う必要な各種設備の改修に取り組むこととした。

4 行財政運営

(1) 保育所・幼稚園・認定こども園・育成室の保育料の体系的見直し及び減額・免除規定の見直し

保育所・幼稚園・認定こども園について、令和元年10月から国の新制度として幼児教育・保育の無償化に移行したことに伴い、区の保育料徴収基準額を見直すとともに、新制度について保護者等へ周知した。

(2) 組織

ア 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会への対応組織

新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、令和2年3月24日付で東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を1年後に延期することが決定された。来年の開催に向けて、組織委員会や東京都、関係機関と協議・連携を図り、着実に準備を進めていく必要がある。

イ 福祉部のあり方

高齢者の介護予防の一元化と、地域包括ケアシステムの推進を図り、地域包括ケア推進担当部長を配置するとともに、保健師を加えた多職種による組織体制を整備するため、福祉保健政策推進担当を設置するなど、「文京区版」地域包括ケアシステムの構築に向けた組織づくりを進めた。